

第9回「演習課題への挑戦(2)」

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozeimi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

次回からは、自分でテーマを見つけて、レポートを書き、発表する練習を始めます。

インターネットを利用して関連資料を探す

資料探しへの取り組み方

1. テーマに関する全体的な知識や動向を調べる
2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

探した情報は、どこにある情報かを記録して、コピーまたは印刷して保存しておきましょう。

- ネット上の情報は「お気に入り」に追加しておき、印刷もする
- 図書・文献は、コピーをしたり「文献メモ」を作成しておく

ネットを使って探す（公的情報源、白書、統計資料など）

- 情報通信白書（総務省：<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>）
- 統計調査結果（e-Gov 電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>）
- サイバー犯罪対策（警察庁：<http://www.npa.go.jp/cyber/>）
- ハイテク対策（警視庁：<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/>）
- 情報セキュリティ（情報処理推進機構：<http://www.ipa.go.jp/security/>）
- インターネットホットライン連絡協議会（<http://www.iajapan.org/hotline/>）

ネットを使って探す（専門に関する情報）

- INETERNET Watch（インプレス：<http://internet.watch.impress.co.jp/>）
- ネット・ウイルス情報（asahi.com：<http://www.asahi.com/digital/internet/>）
- ネット&デジタル（YOMIURI ONLINE：<http://www.yomiuri.co.jp/net/security/>）
- デジタル（日経トレンディネット：<http://trendy.nikkeibp.co.jp/digital/>）

ネットを使って探す（文献情報など）

- 文献の題目・著者・本文などで検索
 - CiNii 論文情報ナビゲータ（国立情報学研究所：<http://ci.nii.ac.jp/ja>）
 - Google Scholar（Google：<http://scholar.google.co.jp/>）
- OPAC（蔵書カタログ）の検索
 - 大学のOPAC（兵庫大学：<http://arena.hyogo-dai.ac.jp/lib/>）
 - Webcat plus（国立情報学研究所：<http://webcatplus.nii.ac.jp/>）
 - NDL-OPAC（国立国会図書館：<http://opac.ndl.go.jp/>）
- 電子ジャーナル
 - J-STAGE（科学技術振興機構：<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>）
 - ScienceDirect（エルゼビア：<http://www.sciencedirect.com/>）

アイデアをひき出す・整理する

自分でアイデアをひきだす（マインドマップ）

1. 大きめの紙と多色ペン（多色のボールペンも可）を用意する
2. テーマに関連する概念の中心となるキーワードやイメージの図を、紙の中央に描く
3. 中央のキーワードやイメージから放射状に、関連するキーワードやイメージを（ある程度自由に）繋げながら描いていく
4. 気がついたことや思いついたアイデアを、樹の枝のように伸ばしながら、発想を展開していく
5. 離れた枝にあるキーワード同士に関連性があれば線でつないだり、ひとまとまりの枝を枠（雲型）で囲む

自分でアイデアを整理する（KJ法、親和法）

1. プレストをして出てきたアイデア全部を一覧できるようにする
2. アイデアの意味や特徴を確認しながら、似ているものを集める
3. 集められたカードやポストイットのグループに、名前を付ける
4. グループに分けたアイデアを参考に、グループごとや全体について、最初からの作業を何回か繰り返す

皆でアイデアをひき出す（ブレインストーミング：プレスト）

1. 与えられたテーマについて思いついたことを、カードや大型のポストイットに、1枚につき1件書く
 - 「最低一人 一件以上」という条件をつけるとうい
2. 全員のカードやポストイットを、壁や模造紙などに張って、簡単に説明する
3. 説明に対してはポジティブに反応し、反対意見がある場合は新しいアイデアとして提案する
4. 他のひとの意見やアイデアを参考にして、新しいアイデアを出してもよい

参考文献

- 石坂春秋「レポート・論文・プレゼン スキルズ」, くらしお出版 (2003.03).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).
- 小笠原喜博「大学生のためのレポート・論文術」(講談社現代新書 1603), 講談社(2002.04).
- 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第3版」, 慶応義塾大学出版会 (2002.12).
- 森時彦, ファシリテーターの道具研究会「ファシリテーターの道具箱」, ダイアモンド社 (2008.03).
- 石井力重「アイデア・スイッチ」, 日本実業出版社 (2009.07).

宿題

- 前回の授業で、大学の図書館から借りた本の「書評」を書く
 - 貸出期間は14日間なので、図書館カウンターで「継続」の手続きをすること！
- 使用する紙のサイズは、A4サイズ
- 手書きでも、ワープロで印刷したものでもよい
 - 1枚目は表紙にして、次のように書いておくこと

「基礎ゼミ？」レポート

2009年6月23日（水）提出

健康科学部 健康システム学科
学籍番号 自分の氏名

- 書評は2枚目から書き始めて、2枚以上書くこと